

## &lt; 運営推進会議における評価\_様式例 &gt; ※公表用

## 【事業所概要】

法人名	(株)クロス・サービス	事業所名	ほのかのぬくもり
所在地	(〒790-0095) 愛媛県松山市朝生田町七丁目13-28		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・相談窓口として機能できるよう、どんな病態の方にもまずは相談にのっている。
- ・ご利用者、一人一人の現状に合わせた支援ができるようにしている。
- ・ぬくもりという名前にあるように、職員だけではなくご本人・ご家族相互で関係が深まりホッとできるような雰囲気作りを心掛けている。

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023年 2月28日	従業者等自己評価 実施人数	(11)人	※管理者を含む
----------------	----------------	------------------	-------	---------

## 【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2022年6月21日、10月25日、12月28日(開催) 4月、8月(中止) 書面 西暦 2023年2月28日(開催)	出席人数(合計)	(11)人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員(3人) <input type="checkbox"/> 市町村職員(人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員(1人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者(2人) <input checked="" type="checkbox"/> 利用者(1人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族(人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者(人) <input checked="" type="checkbox"/> その他(4人)			

## ■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	新型コロナウイルス感染症発生時のBCPを策定する。シミュレーションを実施し、職員への周知と課題を洗いだせるよう取り組む。	BCP策定は行った。実際にロングショート中のご利用者1名が新型コロナ陽性者となった。保健所と相談し、本来レッドゾーンである居室の一部をイエローゾーンとし、PPE脱衣を居室で行った。感染拡大することなく収束した。	実際に新型コロナ陽性者への対応はしたものの、担当を決め一部の職員のみへの対応だったため、それ以外の職員は十分理解が得られていない可能性がある。BCPも策定しただけに終わっているため、見直しを行うとともに、継続的にシミュレーションを実施していく必要がある。	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	家族も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントができる。介護支援専門員の毎月のモニタリングを職員間で共有する。介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせを通じて両職種で共有していく。	自宅でのご利用者の様子やご家族の介護状況、確認したい事などを、介護・看護それぞれの担当者が、モニタリング1ヶ月前にCMへ書面と口頭で伝えるようにした。毎日朝のミニミーティングでご利用者の課題や改善点を話し合っているが、4年度の後期は朝の訪問・送迎もあって限られた職員のみでのミニミーティングになってしまった。	モニタリングする時に担当者からの意見を反映することは出来た。また、毎月のモニタリング結果は職員間で共有し、内容を把握できた。介護・看護の両面から行われたアセスメント結果をケアプランに反映させる必要性や、各職員が事業所内での支援にとどまらず、自宅での支援の在り方をもっと検討できるよう、話し合いの場を作る必要があると思い、半年に1回のライフサポートプラン評価時には、CMを含めた3者で話し合いを行うことにした。
2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	他の法人と連携をとり運営推進会議に参加し、同じ看多機での課題や対策など情報交換し、利用者のためのサポートに必要なサービスの提供ができる。	同じ看多機と電話での情報交換は出来た。法人内での連携は出来ている。感染症対策や身体拘束・虐待防止対策の委員会を立ち上げ意見交換や、小規模との連携もとっている。	他法人の看多機運営推進会議には参加できなかったが、今後も電話で連絡を取り合い連携を図るよう努めたい。	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	引き続き朝生田公園花壇の草引き、花植えなど事業所として可能な啓発活動を実施していく。	GHだんだん、小規模だんだん、との三事業所で1ヶ月間ごと交代し花壇の手入れをしている。独居で動けないご利用者が地域で安心して暮らせるよう、まずゴミ回収から取り組んだ。	花壇の手入れは継続して行いたい。ゴミ出しが困難なご利用者に対し、3月から週1回ゴミのふれあい収集が開始になった。今後も介護サービスでは困難なことはインフォーマルサポートを包括等と検討していく。	
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	ミーティング等で計画目標の見直しや達成、提案、意見など話し合い、次に活かせるよう情報共有していく。	ライフサポートプランの見直し・達成・意見・提案などミーティングの時間に話し合う事ができ、その追いかけるは各担当者が毎月の経過記録に落としこんではいるが、個人差がある。	各担当の介護職、看護師との両職種間で話し合う場を作り、情報共有したり、その結果をケアプランに反映できるようにCMを交えた話し合いができるようにしていく。	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		実際にコロナ対策では想定通りではいかなかったが、保健所と相談しながらゾーニングを行い、感染拡大は防止できた。災害なども平時からの訓練が大事。	感染対策では委員会を定期的に開催し、職員の研修と訓練を年2回行う。災害避難訓練は、夜勤者も参加し夜間想定地震・火災時に一人に対応できるよう訓練を継続し習得していく。BCPの見直し、シミュレーション実施。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	両職種が介護・看護の両面から行われたアセスメント結果の話し合いの場を作る必要がある。 居宅への訪問を含む、ご利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映に努力する。	ご利用者個々の介護担当者・看護担当者間でアセスメント結果の話し合いの場を作る。 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、居宅への訪問を含む、ご利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映ができる。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	引き続き病院等と連携を図りながら、切れ目のない、看多機だからこそできる支援の提供を行っていく。 独居の方は特に地域の民生委員とも連携を図り、住み慣れた家で安心して過ごしていけるように支援することが必要だが、十分とは言えない。	ご利用者が暮らす地域の民生委員や包括と連携を図り、住み慣れた家でご利用者が安心して過ごしていけるよう、看多機ができる支援と、地域に協力していただくことを具体的にし、また地域行事等にも参加できる機会がないか？検討していく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	引き続き花壇の草引き等継続しながら、コロナ渦以前に開催していた『なんでも相談室』が開催できないか？検討は行っていきたい。	引き続き花壇の草引き等継続し、事業所として可能な啓発活動を検討・実施していく。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)		ライフサポートプランの見直し・達成・意見・提案などミーティングの時間に話し合う事が出来ているが、その後の追いかは各担当者が毎月の経過記録に落としこんでいくように努める。	ご利用者ごとの計画目標の見直しや達成、提案など次に活かせるよう各担当者は毎月の経過記録で追いかけて計画目標の達成に近づけられるようにする。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
<b>I 事業運営の評価【適切な事業運営】</b>							
<b>(1) 理念等の明確化</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○			<p>ほぼ実行していると理解している。 評価する。 出来るだけ在宅で過ごせる為のサービス内容の変更や家族の負担軽減の為に取組みだと思えます。</p>	<p>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○			<p>ほぼ実行していると理解している。 評価する。 新人研修時に伝え、その後もミーティングで振り返っている取組みで職員間でも一定の理解が出来ていくと思えます。</p>	<p>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(2) 人材の育成</b>							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している		○			説明からおおよそ出来ていると理解している。 各職員が年間目標を立てその目標に向かう事で責任も大きくなりますのでいい取り組みだと思えます。面談などは適宜必要だと思えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> <li>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</li> <li>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</li> </ul>
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	○				積極的に育成計画が行われている。 評価する。 最低限必要な研修はしていると思えますが、スキルアップの為とは更に社外研修に参加する事も大切だと思えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</li> </ul>
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		○			会議で聞く限り評価できる。 申し送りやミーティング、話し合い、グループワークはとても良い取り組みだと思えます。 口頭の伝達だけでは伝わらない事はあると思われるので文書での確認は重要だと思えます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>フサポートプランの見直しを2つのグループに分かれ話し合っている。色々な意見や提案があって参考になっている。</p> <p>ただ、口頭での伝達事項については、全職員に伝わってない事が多くある。紙面に残すよう心がけている。</p>					
<b>(3) 組織体制の構築</b>							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	○				<p>花壇は現場確認したが出来ている。</p> <p>かわら版は助言の度に改善されている。</p> <p>大いに評価する。</p> <p>引き続き公園の花壇の草引きや花植えを継続できているのは素晴らしい事だと思います。</p>	<p>✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します</p>
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			<p>取り組み内容に問題ないと思います。</p> <p>定期的面談で職員の意見や思いを聞く事は大切だと思います。</p>	<p>✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		き対応している。					
<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			運営推進会議で目的意識を感じる報告があった。 評価する。 取り組み内容で問題ないと思います。引き続き対応をお願いします、	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
<b>(5) 安全管理の徹底</b>							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている		○			推進会議でも報告があり積極性が感じられ具体的に実行している。 大いに評価する。 サービス提供に係る利用者への対策の取り組みは問題ないと思います。 ヒヤリ・ハットや事故報告書をうまく活用し、再発防止に努めて下さい。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		車にならないよう当事業所が訪問先近くの 駐車場と契約し職員が安心して駐車できる ようにしている。				また職員の安全確保などの対策 も問題ないかと思えます。	
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時において も、サービス提供が継続で きるよう、職員、利用者、関 係機関の間で、具体的な対 応方針が共有されている			○		災害避難訓練についてはいつも 積極的に取り組んでいる。 災害時の取り組みは問題ないか と思えます。 新型コロナ等の感染症はまだ まだ継続していくと思われま すのでBCPなどしっかり策定し て下さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時におけるサービス提供 のための備え」について、充足度 を評価します</li> <li>✓ 例えば、「安否確認方法の明確 化」、「連絡先リストの作成」、「医 療材料などの確保」、「災害時ケア のマニュアル化」などが考えられ ます</li> </ul>
<b>II サービス提供等の評価</b>							
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>							
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況 や家族等介護者の状況等を 含む、利用者等の 24 時間の 暮らし全体に着目したアセ スメントが行われている			○		家族との連絡ノート等の活用は とても良いと思えますが、充分 なアセスメントにはならないと 思いますので、日頃から本人の 状態、家族の様子を気にする習 慣をつけ、皆でしっかりと情報 共有していきましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮ら し全体に着目したアセスメント」 の充足度を評価します</li> <li>✓ ケアが包括的に提供される看護 小規模多機能型居宅介護におい ては、家族等も含めた 24 時間の 暮らし全体に着目したアセスメ ントが必要となります</li> </ul>



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
		メントは不十分である。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○			取り組み内容で問題ないと思われ ます。 継続をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</li> </ul>
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			家族と意見を交わしていることは会議で報告をうけたが積極性について評価している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</li> </ul>
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○			生活機能の維持・向上について取り組んでいるのは現認している。大いに評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</li> </ul>
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている		○			<p>会議の報告で積極的に取り組んでいるのが確認できている。評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している			○		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b> ご利用者により利用状況の偏りがある。連泊利用のご家族には適宜、話をして帰宅支援をすすめている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○			こまめに連絡をとっているのは会議で確認している。 評価する。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	○				チームワークがとれているのは確認している。 評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</li> </ul>
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	○				チームワークがとれているのは確認済み。 評価する。	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
		エックしている。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	○				会議で確認済み。チームワークが取れている。 評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</li> <li>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</li> </ul>
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			皆さんやさしい。 問題ないと思う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</li> </ul>
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	て、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている						
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○				これは皆さんやさしくて丁寧です。 立派です。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		○			終末期の件はよく会議で報告を受けている。 やさしい。安心できる。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○				✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している		○			これは立派です。 会議で終末期を聞きましたが、私の親の死去を経験しているだけによく分かります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」</li> </ul>
<b>2. 多機関・多職種との連携</b>							
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</li> </ul>	
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有するこ		○			<p>会議で確認している。 ルール化している。 評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</li> <li>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者</li> </ul>	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	とができています	ご家族の意向を聞き取った上で、主治医と対応策を相談・共有している。					の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
<b>③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築</b>							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応可能な体制が構築されている	○				これは立派に完全にルール化している。 評価する。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
<b>(2) 多職種との連携体制の構築</b>							
<b>① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討</b>							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○			隠すことなく情報提供が行われている。 評価する。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です ✓

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができ るような方法での情報発信 が、迅速に行われている			○		出来ている。 評価する。	✓ 「誰でも見ることができる方法 での情報発信」と「迅速な情報発 信」の2つの視点から、充足度を 評価します
		[具体的な状況・取組内容] 1回/2ヶ月に発行している『かわら版』にて 情報発信している。					
33	○ サービスの概要や地域にお いて果たす役割等につい て、正しい理解を広めるた め、地域住民向けの積極 的な啓発活動が行われている			○		行われていない。 評価しない。	✓ 「積極的な啓発活動」について、 評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や 「地域説明会の実施」などの取組 が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的 とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] 新型コロナの影響により「何でも相談室&も ったいない市」は昨年から中止している。 地域の朝生田公園の花壇の草引きや花苗植 えなど継続して実施している。 朝生田町内の保育園児へ手作りのクリスマ スプレゼントを今年度もお渡しする事が出 来た。					
<b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介 護事業所の登録者以外を対 象とした訪問看護を積極 的に実施している			○			✓ 「指定訪問看護事業所の指定を 併せて受けている事業所」のみが 対象です。該当しない場合は、実 施状況欄は無記入で、[具体的な 状況・取組内容]欄に「指定なし」 と記入してください
		[具体的な状況・取組内容] 同一建物2階に訪問看護ステーションが 別にあるため、看護小規模では、今のと ころ登録者以外の方を対象とした訪問看 護は行っていない。					



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○				会議で確認済み。評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○				積極的に進んでおりテキパキとしている。 評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</li> </ul>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積	○				特定せず積極的に広く取り組んでいる。 評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定するこ</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	極的にサービスを提供している	用者はいない。					となく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		○				✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> ご利用者宅の近所の住民から、「庭木が大きくなって覆い茂り、垣根を越えている。」というクレームに対して、ご利用者では対処しきれない為、地域包括支援センター、松山市介護保険課へ相談した。すぐには解決できないが、双方安心して暮らしていけるよう解決に向けて進めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		○			介護力の拡大は立派です。 なかなか出来るものではないです。 評価します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</li> <li>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</li> </ul>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>ご利用者が家で過ごしたい希望があり、在宅での療養生活を支えていくために、訪問介護、訪問看護に入り、ゴミ出しや、掃除、洗濯、買い物など生活面も支えている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ミーティング等で計画目標の見直しや達成、提案、意見などグループワークで話し合っており、次に活かせるよう情報共有している。	パーフェクトは無理。評価します。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	① ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 夜間は電話当番看護師が電話対応や訪問看護に入り対応している。また、退院後や体調変化など、通いのみではなく宿泊も利用して状態観察するなど柔軟な対応	満足のお話は聞いています。評価します。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		ができ、在宅での療養生活の継続に対する安心感を得られている。		
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <p>今年度は事業所内で2名看取りをした。コロナ禍であったが、面会時は感染防止対策を行い充分注意した。最期が近づく頃には居室に泊まり寄り添っていただいた。</p>	満足して頂いた報告あり。大いに評価します。	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>